

惠隆之介（めぐみ りゅうのすけ）先生および

シンクタンク「沖縄・尖閣を守る会」活動を支援する会

結成趣意書

各位

わが国をはじめアジア太平洋地域諸国の平和と繁栄は日米同盟が根底であることは言うまでもありません、とりわけ沖縄に展開します米軍の存在意義は極めて重要であります。

今その沖縄に第三国勢力や国内の左翼勢力が結集し、反日反米の活動を活発化しております。

沖縄出身の惠隆之介先生（58歳）はそういう空気の中で、基地反対勢力によるあらゆる圧力や嫌がらせに屈せず、読売テレビ「タカジン何でも言って委員会」等のテレビ出演や、執筆活動（「八重山日報」論説委員）、地元ラジオFM21コメンテーターとしての活動を通じて沖縄県民を左翼勢力のくびきより解放すべく頑張っておられます。

この度先生は6月21日に添付資料「シンクタンク『沖縄・尖閣を守る会』」を立ち上げ活動を開始致しました。ところが先生は今春、左翼の弾圧により主な収入源でありました大学講師の職を追われており、また那覇市内に設置してありました研究所兼事務所も今月7月3日に追われ、生活および活動推進に支障を来たしておられます。

そこで私どもが先生の研究活動を支援すべく月単位で浄財を持ち寄り、先生がさらなる研究活動を展開できますよう支援して行きたいと思っております。

どうか私どもの主旨をご理解頂まして、一致団結、惠先生を支援できますようお願い申し上げます。

平成24年7月24日

惠隆之介先生を支援する会

会長 医師 中川義衛

シンクタンク「沖縄・尖閣を守る会」発会にあたって

我が国、沖縄・尖閣方面に対する中国の侵略が迫っているにも拘わらず、政府が余りにも及び腰であるため国民に対し東シナ海の軍事情勢に関する説明責任を果たせません。また国内マスコミは恣意的な報道を繰り返しており、国民は混乱しております。

そこで私どもは米軍のアドバイスもあって、以下の趣旨でシンクタンクを設立します。スタッフは退役米軍将校、自衛隊幹部OBです。事態切迫のため緊急発会致します、

活動状況はインターネット等で随時発信致します。

活動目標

1. 在日米軍とりわけ米海兵隊の広報支援、新型機「オスプレイ」を含む新軍備の県民、国民への解説活動
2. 沖縄の実態をワシントン、海外メディアに発信する
3. 沖縄県民、とりわけ尖閣、与那国方面を管轄する石垣市および同市民の啓蒙、思想安定に寄与するため広報活動を行う、併せて離島地域で発生する事象を収集し関連機関へ配布する（日刊「八重山日報」媒体）
4. 重要歴史資料の保存整理（現在、沖縄県内の歴史資料が何者かによって改竄、焼却されております）

重ねて申し上げますが、本来これらの行為は政府、防衛省、外務省が行うべくことではありますが国家があまりにも及び腰でありますため、我々は立ち上がりました。

平成24年6月21日

代表

惠 隆之介

シンクタンク「沖縄・尖閣を守る会」活動支援要領

カンパ要領

月単位	個人	1口	1,000円～
	企業法人	1口	10,000円～

*一回の個人ご寄付、企業法人のご寄付も歓迎致します

お振込み先

①郵便為替

加入者名 沖縄・尖閣を守る実行委員会
口座 01730-7-54903

②ゆうちょ銀行

金融機関コード 9900
店名 一七九（イチナナキュウ店）
口座番号(当座) 0054903

*お問い合わせ先 新垣（あらかき）

080-2734-1275

どうかご支援賜りますようお願い申し上げます

敬白